

カメラマウントアダプターシリーズ
カメラアダプターシリーズ

取扱説明書

カメラアダプターシステム

お願い

このシステムは、UIS2/UIS光学系を採用しています。UIS2/UIS光学系シリーズの顕微鏡と組み合わせてご使用ください。組み合わせが合っていないと、性能を発揮できません。

本装置の性能を十分に発揮させるためおよび安全確保のため、ご使用前に必ずこの取扱説明書をお読みください。

装置使用時には、常にお手元に置いていただき、お読みになったあとも大切に保管してください。

光学顕微鏡アクセサリ



AX5895

目次

1	カメラアダプターシステム図.....	1
2	カメラにより観察 / 撮影できる範囲	3
1	カメラアダプターの倍率選択.....	3
2	カメラ撮影倍率	4
3	モニター観察倍率	4
3	組み立て方	5
1	カメラアダプター / カメラマウントアダプターの取り付け	5
2	カメラの取り付け	6
4	使い方	7
1	顕微鏡の調整.....	7
2	カメラおよびモニターの調整.....	7
3	観察像とモニター像の同焦調整.....	7
4	カメラの回転.....	9
5	使用中に生じた問題とその処置.....	10

安全に関するお願い

この製品を取扱説明書に記載されている以外の方法で使用すると、安全が保証できず、さらに故障のおそれがあります。この取扱説明書に従ってご使用ください。

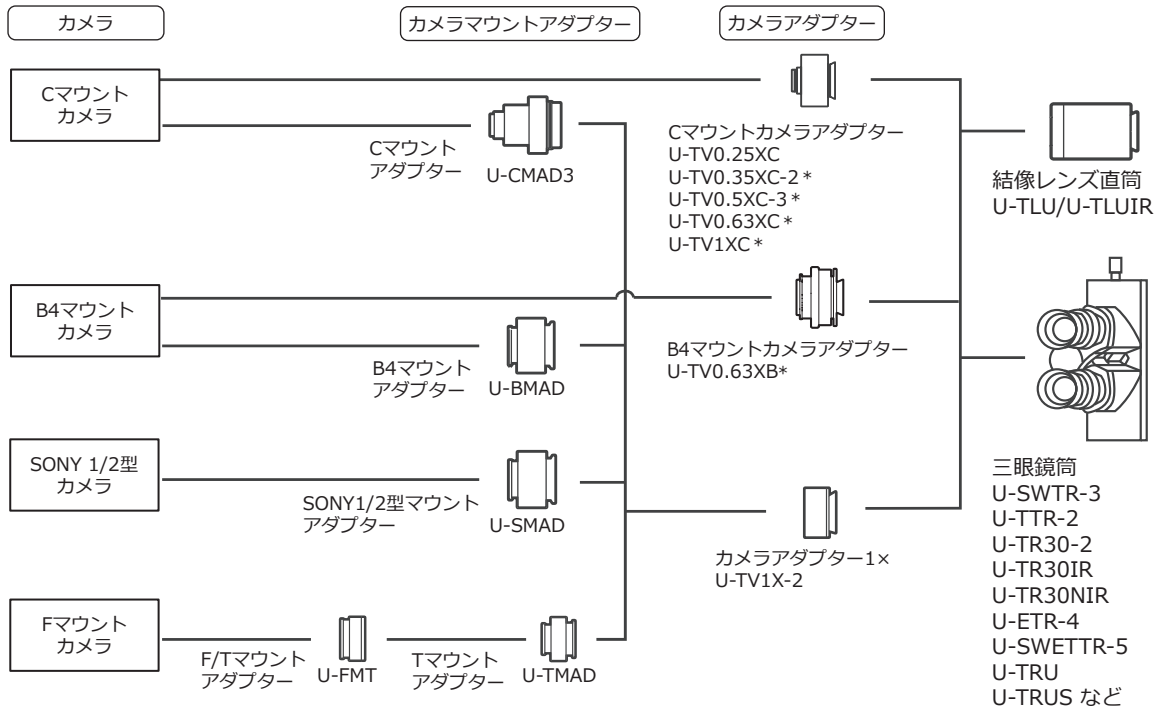
この取扱説明書の中では以下のシンボルを使用しています。

注記：これを守らないと製品や周辺の家財などの破損につながる可能性のある事柄を示します。

参考：使用にあたっての有効な知識、情報などの内容を示します。

1 カメラアダプターシステム図

各種カメラに対応したカメラアダプターを取り揃えています。カメラアダプター(カメラマウントアダプターが必要なものもあり)を介して、各種カメラを顕微鏡に取り付けられます。



* 単独取扱説明書添付

注記

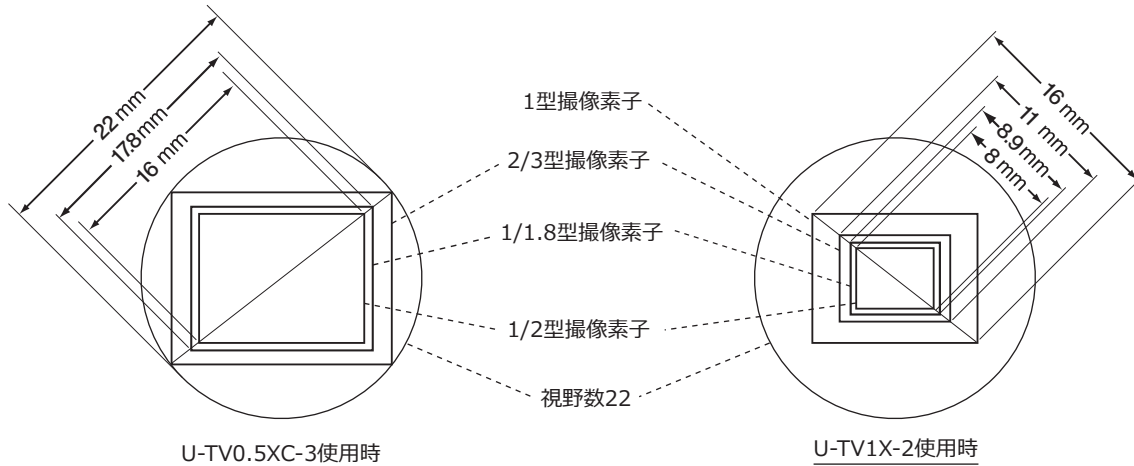
使用カメラの制限条件

- ・カメラのCマウント取り付け面が、カメラ本体より潜り込んでいる形式のものは、使用できません。
- ・カメラの大きさによっては、顕微鏡と干渉し、取り付けができない場合があります。
- ・カメラアダプターの倍率と、カメラ(撮像素子の大きさ)との組合せによっては、周辺光量不足、またはケラレが生じます。次項『カメラにより観察／撮影できる範囲』を参照ください。

2 カメラにより観察 / 撮影できる範囲

1 カメラアダプターの倍率選択

カメラによる観察/撮像範囲は、撮像素子の大きさと、カメラアダプターの倍率により決まります。観察/撮像範囲は、接眼レンズ(視野数22)の観察範囲に対して、下図のようになります。下図を参考にして、カメラアダプターの倍率を選択してください。



2 カメラ撮影倍率

対物レンズ倍率×カメラアダプター倍率

3 モニター観察倍率

カメラ撮影倍率（上記） × $\frac{\text{画像対角長}*(\text{mm})}{\text{撮像素子対角長}*(\text{mm})}$

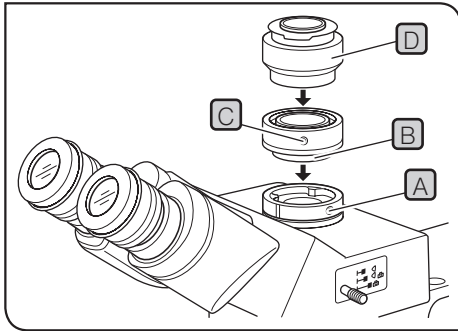
* 撮像素子対角長はメーカーにより多少寸法が異なりますので、正確なモニター観察倍率ではありません。

<撮像素子対角長（参考）>

1型 → 16mm、2/3型 → 11mm、1/1.8型 → 8.9mm、1/2型 → 8mm、1/3型 → 6mm、1/4型 → 4mm

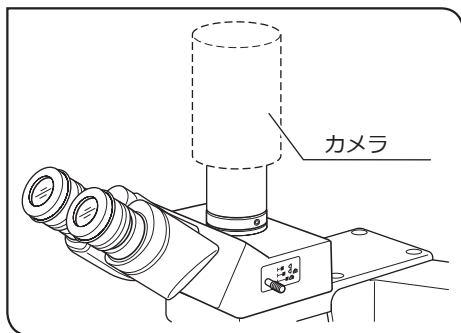
3 組み立て方

1 カメラアダプター／カメラマウントアダプターの取り付け



- 1 顕微鏡に付属の六角ドライバーを使用して、三眼鏡筒のカメラアダプター取り付け部(またはU-TLU)の固定ねじAをゆるめます。
 - 2 カメラアダプター下面の丸アリBをカメラアダプター取り付け部へ挿入し、固定ねじAを締め付けます。
- 参考 Cマウントカメラアダプターの場合は、カメラマウントアダプターは必要ありません。
- 3 カメラアダプターのマウントアダプター固定ねじCを六角ドライバーでゆるめます。
 - 4 使用するカメラに応じたカメラマウントアダプターDをカメラアダプターにねじ込みます(時計方向)。後で調整しますので、適当な所で止めます。
 - 5 固定ねじCを仮締めしておきます。

2 カメラの取り付け



B4マウントカメラ、SONY1/2型カメラ

- カメラの位置決め溝をマウントアダプターのピンに合わせて押し当て、カメラを回して確実に固定します。

Cマウントカメラ

- Cマウントカメラをマウントアダプターにねじ込んで確実に固定します。

4 使い方

参考 カメラ、モニターについては、それぞれの取扱説明書をご参照ください。

1 顕微鏡の調整

顕微鏡の光源を点灯し、各部の調整を行い観察可能状態にします。

2 カメラおよびモニターの調整

カメラ、モニターの取扱説明書に従って、カラー調整などの各種調整を行います。

参考 接眼レンズの視野中心と、画像の中心とが完全には合わないことがあります。

3 観察像とモニター像の同焦調整

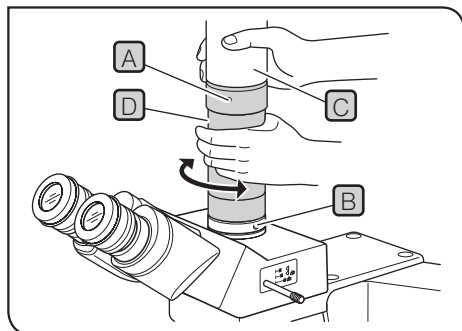
注記 あらかじめ、接眼レンズの視度調整を行ってから、下記の調整を行ってください。

- 1 三眼鏡筒の光路切り替えを押し込み位置（観察光路）にします。
- 2 高倍率対物レンズを使用し、接眼レンズを覗いて標本に正確にピントを合わせます。
- 3 低倍率対物レンズに切り替え、三眼鏡筒の切り替えを引き出し位置（カメラ光路）にし、標本像をモニターに表示します。

次ページ以降、カメラアダプターの伸縮による同焦調整を記述します。

U-TV0.35XC-2/ U-TV0.5XC-3/ U-TV0.63XC/ U-TV1XC/
U-TV0.63XBの場合

各カメラアダプターに付属の取扱説明書をご参照ください。



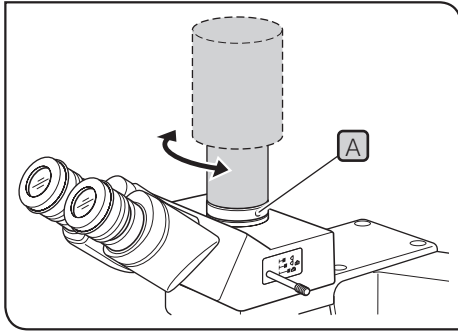
U-TV1X-2、U-TV0.25XCの場合

固定ねじ(A)と(B)を六角ドライバーでゆるめ、モニター像を見ながらカメラマウントアダプター(C)を押さえ、カメラアダプター(D)を回転させ、ピントが合った位置で(A)と(B)を締め付けます。

参考

取り付ける顕微鏡の形状により、固定ねじ(A)が締め付けできない位置にある場合は、現固定ねじ位置を覚えておいて、カメラアダプター(D)だけを持って締め付け可能な位置まで回転させて(A)を締め付け、次に元の位置へ戻して(B)を締め付けます。

4 カメラの回転



- 1 三眼鏡筒のカメラアダプター取り付け部の固定ねじ **A** をゆるめ、カメラを回転後、固定ねじ **A** を締め付けます。

5 使用中に生じた問題とその処置

問題が発生した場合は、以下を参考にされて適切な処置をとってください。

万一、問題が解決できない場合は、オリンパスの販売店にご連絡ください。

現 象	原 因	処 置	参照ページ
ゴミが見える。 1) 標本を動かすと動く。 2) カメラを回転すると動く。	1) 標本にゴミが付いている。 2) カメラにゴミが付いている。	清掃してください。	—
画像の周辺部が暗い。	観察/撮像範囲が広すぎる。	適切な観察/撮像範囲に調整してください。	3
色がおかしい。	ホワイトバランスが調整されていない。	調整してください。	7
	モニターの色合いが調整されていない。	モニターの色合いを調整してください。	7
目視とのピントずれが大きい。	視度調整および同焦調整が適切に行われていない。	正しく調整してください。	7, 8
画像が白く飛んでいる。	カメラが高感度の場合や自動調光機能がない。	顕微鏡の照明を暗くしてください。	—

修理の依頼について

トラブルシューティングに記載された処置を行った後も、問題を解決できない場合は、オリンパスの販売店にご連絡ください。なお、その際に以下の事項を併せてご連絡ください。

- 製品名および略称 (例: : Cマウントカメラアダプター 0.63X U-TV0.63XC)
- シリアル番号
- 現象

MEMO

この製品は 2022 年 4 月 1 日より **株式会社エビデント** が製造をおこないます。
この製品についてご不明な点は、下記のお客さま相談センターまたはウェブサイトを通してお問い合わせいただくか、購入された販売店にお問い合わせください。

株式会社エビデント

 EVIDENT Customer Information Center
お客様相談センター

 **0120-58-0414** 受付時間 平日 9:00～17:00

※携帯・PHSからもご利用になれます。

E-mail: ot-cic-microscope@olympus.com

(ライフサイエンスソリューション)

お問い合わせ

<https://www.olympus-lifescience.com/support/service/>



(ライフサイエンスソリューション)

当社ウェブサイト

<https://www.olympus-lifescience.com>



(産業ソリューション)

お問い合わせ

<https://www.olympus-ims.com/service-and-support/service-centers/>



(産業ソリューション)

当社ウェブサイト

<https://www.olympus-ims.com>

